

札幌部分日食報告

山本順司

札幌で暮らし始めて2ヶ月弱。まだ慌ただしい日々を送っていますが、スーパームーンに引き続く超大型天文ショーを見逃すわけにはいかぬと山積みの引越荷物の中から観測機器を掘り出して家を出ました。

札幌市は190万超の人口を抱える大都市ではありますが意外と車社会の面を合わせ持っています。そのため普段は地下鉄通勤であっても天気や気分によっては車通勤が可能です。この日はもちろん車。大分から運んだ機材をトランクに詰め込んで東空の開けた場所を探しました。しかし都市の弱点、行けども行けども東空にはビルが聳え立つ。致し方なく大学へ向かいました。

北海道大学は札幌駅から徒歩10分以内の至便の地にありながらも東京ドーム約40個分の広大なキャンパスを抱える札幌市の邪魔者。その一方、夕刻になるとキャンパス内の至る所でジンギスカンの煙が立ち昇る市民の憩いの場ともなっています。それゆえ望遠鏡を設置していてもそれほど気にされることはありません。私は博物館脇のウッドデッキに望遠鏡を設置し、晴れ渡った空の最も明るい方向へファインダーを向けました。5月下旬と云えど北海道はまだ初春の趣。ビル風が吹き荒ぶ中、コリメートで撮影を開始しました。

1枚目の写真は観測風景。しばらくしてやってきた同僚は日食眼鏡で観測していました。戴いた温かいコーヒーが無ければ凍え切っていたに違いありません。

2枚目の写真は最大食を少し過ぎた頃の状態です。望遠鏡から目を外して辺りを見回しましたが、ほんの少し暗くなった気がする程度で、行き交う人々もカラスも特段気にしているようには見えませんでした。

観測は食最大後20分ほどで切り上げ職場へ向かいました。きっと日本中で素晴らしい金環日食が見られているのだろうと想像しつつ。まさか九州でみんなが苦戦されておられようとは思ってもやらず、、、



日食写真の撮影データ

カメラ：OLYMPUS XZ-1, F: 2.3, t: 1/320 sec., 7:58AM

望遠鏡：7cm MEADE ETX-70AT (F5), Solar filter, Eyepiece: 25 mm + 2x Barlow